

善福寺川整備工事（その210）工事説明会 主なご質問、ご意見と回答

1. 開催概要

日時：①令和6年2月2日（金） 午後6時30分～午後8時00分
②令和6年2月3日（土） 午後1時00分～午後4時00分
場所：杉並区立松渓中学校体育館
来場者：41名（①10名、②31名）

2. 説明会のアンケートで頂きましたご意見

（説明会について）

- ・担当の方に直接話を聞いて質問しやすい。
- ・個別に丁寧に説明を受けて、分かりやすかった。
- ・知りたいポイントの説明を受けることができる。という意見がありました。
オープンハウス形式については7割以上の方から良い、また説明会全体の感想についても半数以上の方から良いと回答を頂きました。

（工事への要望について）

- ・工事期間を守って早く終わらせてほしい。
- ・車両の通行は安全に十分注意してほしい。
- ・騒音や振動、家屋への被害が気になる。
- ・住民の心や生物についても大事にしてほしい。という意見がありました。

本工事区間では、令和5年6月の台風でも浸水被害が発生しており、早期の水害対策が必要となっております。

地域の皆様には長期間にわたり、ご迷惑をおかけいたしますが、第三建設事務所として頂いた意見を基に工事を迅速かつ安全に進めてまいります。

説明会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【説明会場の様子】



3. 工事についての主なご質問・意見に関する都の回答（要旨）

（工事について）

Q 1. 工事はどのくらいの期間かかるのか？

A 1. 本工事は令和6年12月の完了を予定しております。

本工事完了後は下流側へ栈橋を延ばし、神通橋～西田端橋の間の未整備区間を整備したのち、再度本工事区間で栈橋下の護岸整備を行います。その後、上流側の松溪橋まで工事を行い、事業の完了は令和12年度を予定しております。（説明会資料 P11）

Q 2. 工事の騒音振動が気になる。どの作業がうるさいのか？振動で家は壊れないか？

A 2. 工事の振動騒音については、法律条例で定められた基準値（騒音 85dB、振動 75dB）を遵守して、施工してまいります。本工事でも、低振動や低騒音の機械を使用し、防音シートを設置するなど、振動騒音の軽減に可能な限り努めてまいります。

騒音振動が発生しやすいものとして、護岸撤去でコンクリートを壊す工事、鋼管圧入する工事を想定しています。その他コンクリートのポンプや機械のエンジン音などに対しても、十分に注意して工事を進めてまいります。

Q 3. 仮囲いはどこに、どのようなものを立てるのか？暗くならないか？

A 3. 河川管理用通路との敷地境界の部分に高さ3mの白色の鋼板を設置します。

河川沿いにお住い方に対しては、陽が入りやすいように透明なアクリルタイプが良いなどの要望があれば個別に対応いたします。（説明会資料 P16）

Q 4. 仮囲いは全て透明なタイプにできないか？中が見えないと工事の進捗がわからない。

A 4. コーナー部などは透明なタイプを利用し、工事の様子がわかるようにいたします。

全てを透明にすることについては、人によっては、工事現場から住宅の中を見られたくないという方もいるため、どのタイプとするかは個別に対応いたします。

Q 5. 仮囲いはいつまで設置されたままなのか？

A 5. 本工事で設置する仮囲いは令和9年度までの予定です。（説明会資料 P11）

Q 6. 目の前で工事をやっている洗濯物は干せなくなってしまうのか？

A 6. 洗濯物を干すことは可能です。家の目の前で工事を行う際には粉塵、排気ガス等の影響を少なくなるよう工夫してまいります。お気づきの点があれば説明会資料 P42 の連絡先までお知らせください。

Q 7. 下流側の神通橋付近の工事は長いことやっているが、当初からどのくらい延びたのか？早く工事を進めてほしい。

A 7. 下流側で実施している工事は、当初、令和6年2月末の完了予定でしたが、河底の地中に障害物が発見されたことや大雨により現場内が冠水したことへの対応等により、作業が増え、現在令和6年9月末の完了に向けて工事を行っております。

本工事についても早期に工事を完了できるように、進めてまいります。

Q 8. 神通橋付近と同じ工事の進め方なのか？時間がかかりすぎている。住民の負担軽減にもなるので工事期間や範囲はなるべく短くしてほしい。

A 8. 神通橋付近の工事では、周辺家屋へ圧迫感のないよう河川上に仮棧橋を設置せずに工事を進めてまいりましたが、機械を小型化する必要があるなど、想定していたより時間を要しました。本工事箇所付近では、本年度も浸水被害があり早期に護岸整備を進める必要があることから、河川上に仮棧橋を設置して施工することでよりスピードアップを図ってまいります。

Q 9. 管理用通路は通れなくなるのか？

A 9. 管理用通路は工事範囲となるため歩行者、自転車共に通行できなくなります。また、左岸側の大谷戸サクラ緑地の一部も工事ヤードとなりますので、園路も通り抜けできなくなります。ご不便おかけしますが、迂回路をご利用ください。（説明会資料 P36）

Q 10. 管理用通路の高さは今と比べて変わるのか？舗装はどのようなものになるのか？

A 10. 本工事箇所の管理用通路の高さは現在と変わりません。舗装は透水性舗装とすることを予定しております。

Q 11. 工事の進捗状態や住民からの要望、その回答はお知らせしてほしい。

要望に対しては郵送による文書回答や必要に応じ、説明会を開いて説明してほしい。

A 11. 工事の情報は、工事箇所に設置する掲示板やホームページにてお知らせします。また、工事に関するご要望については、説明会資料 P42 の連絡先へお知らせいただいた上で、個別に対応させていただきます。

（家屋調査について）

Q 12. 家屋損賠とはどういうものか？

A 12. 工事区域から 30m の範囲に入る家屋を対象として調査を行います。家屋被害が発生した場合、工事による影響かどうかを判定するため、事前調査と工事完了後の事後調査結果を比較します。工事が原因と考えられる被害があった場合はその箇所を補修するための費用を算出し、金銭にて賠償いたします。（説明会資料 P41）

Q 13. 家屋調査の範囲外に住んでいるが調査は実施してもらえないのか？今行っている工事でも揺れが気になるときがある。

A 13. 基本的には、工事区域から 30m の範囲を対象としております。工事中、振動等が気になるようであれば、お知らせください。（説明会資料 P40、42）

Q 1 4. 家の一部のみが 30m 範囲になっているが、全部が対象になるのか？また、全ての部屋を調査しなくてはいけないのか？

A 1 4. 建物の一部が 30m の範囲に含まれる場合、建物のすべてが対象となります。部屋も基本的にすべてが対象となります。事前調査を実施していないと工事の影響による損傷か否か判定できないため、補償の対象にならなくなります。調査にご協力をお願いします。

(搬入路について)

Q 1 5. 西ルートを通行する工事用車両は何時から何時まで通行するのか？

A 1 5. 西ルートにおいては、日中の作業時間内には車両が不定期で通行いたします。車両通行の際は交通誘導員を配置し、通学時間帯を避けるなど安全に十分注意して工事を進めてまいります。

Q 1 6. 西ルートを通行する工事用車両は 1 日当たりどれくらいの台数が通るのか？

A 1 6. 今回の工事では、大型ダンプトラック (10 t)、鋼管杭を搬出入するためのトレーラーがメインになります。1 日あたり最大で各々 6 台程度を想定しています。
(説明会資料 P39)

Q 1 7. 西ルートを通行する工事車両はどんな種類のものがあるのか？

A 1 7. 説明会資料 P39 の車両が通行いたします。
本工事で使用する工事車両には、ピンク色の紙をフロントガラスに掲示します。何かお気づきの点があった際は説明会資料 P42 の連絡先にお知らせください。

Q 1 8. 西ルートの旧環八の交差点付近では、事故が起きたことがあるし、道も狭いし、緩いカーブもあるので、気を付けてほしい。

また、バスが通るだけで自宅が揺れるので、家の前を大きい車が通るのは不安だ。
A 1 8. 車両通行の際は交通誘導員を配置し、安全確認を徹底いたします。
また、説明会資料 P37 のルート (矢印上) においては、振動にも配慮して工事車両の走行速度は 20km/h 以下に制限いたします。

Q 1 9. 関東バスのバスルートだが、通行には支障はないか？

A 1 9. 曲がり角や交差点には交通誘導員を配置し、連絡方法を決め、バスとのすれ違いの位置などを調整し、一般車両含め、交通渋滞が起こらないようにいたします。

Q 2 0. 東ルートを通行するのはいつか？何台か。事前に知らせてほしい。

A 2 0. 東ルートは 75 t の大型クレーンを現場へ搬入、搬出する際に通行いたします。時期は、令和 6 年の 4 月 (搬入時) と 11 月 (搬出時) 頃を予定しております。台数は各 2 日間の計 4 日程度でトレーラー 3 台が往復する予定です。なお、特殊な車両となりますので、通行する時間帯は早朝又は夜間となります。(説明会資料 P39)
また、杉並高校、共立女子大学、天王寺橋交差点の各箇所にて搬入路整備をする際

にも台数は少ないですが、工事車両が通行いたします。

工事を行う際、また大型車両が通行する際は、近隣にお住まいの方に事前にお知らせいたします。

Q 2 1. 東ルートの日野市街道から天王橋付近の道路は、水路の上に舗装を掛けたものであり、舗装厚も薄い。トレーラー等の重量がある車両が通ると陥没の恐れがある。トレーラー通行に反対する。

A 2 1. トレーラーが安全に通行できる舗装構造であることを確認しております。通行の際は、速度を制限して通行いたしますので、ご理解ください。

Q 2 2. 東ルートの共立女子大学の敷地内の工事用道路は南側の既存の道路からどのくらい離れているのか？

A 2 2. 既存の道路から約 5m離れた箇所に設定しております。通行の際は交通誘導員を配置し安全を確保するとともに、速度を制限し振動が少なくなるよう通行いたします。(説明会資料 P30)

(今後の工事予定について)

Q 2 3. 大谷戸橋は架け替えるのか？

A 2 3. 本工事では架け替えませんが、今後、大谷戸橋から上流の護岸整備を行う際には架け替えが必要となります。(説明会資料 P11)

Q 2 4. 西田端橋はいつ架け替えするのか？拡幅するのか？

A 2 4. 令和 6～令和 9 年の工事で架け替え予定です。(説明会資料 P9)
全体の橋の幅はほとんど変わりませんが、車道を現況 5mから 6mに拡幅する予定です。

Q 2 5. 護岸の形状はどのようなものになるのか？

A 2 5. 整備後の暫定形状は説明会資料 P13 の青い線の通りとなります。
現況河床高さが整備河床高よりも低い箇所もあり、詳細な形状は今後検討してまいります。

Q 2 6. 護岸は杭の直立の形はやめてほしい。幅を広げて緩やかにできないか？

A 2 6. 護岸の構造上の基礎となる鋼管は必要となります。
また、洪水を安全に流下させるために、必要な河川の断面を確保する必要があります。河川の幅は決まっておりますので、護岸を緩やかにすることはできません。

Q 2 7. 今回の整備区間の護岸高さをできるだけ高くしてもらえないか？

A 2 7. 護岸の高さは、整備計画に基づく計画高さが決まっております。橋など周囲の高さに合わせて、一部高くなっている箇所はありますが、基本は計画高さとなります。

Q 2 8. 松溪橋より上流側の河底はいつ掘るのか？

A 2 8. 時期は未定となっております。

Q 2 9. 今回の発注ロットはどうやって決めているのか？

A 2 9. 予算面が一つの基準となります。また、工事に早期に着手するため、関係機関等との調整が完了したところから順次工事を発注しております。

Q 3 0. 下流側の工事では契約不調となり、工事が動かない状態でもどかしかった。工事費の高騰や人手不足などで入札が不調になることが増えているようだが、また契約不調になったりしないのか？

A 3 0. 社会情勢を踏まえ、工事のスケジュールや発注規模をよく検討し、不調のリスクを低減した上で、工事を発注してまいります。

(景観・樹木・生物、環境について)

Q 3 1. 工事で樹木は伐採するのか？

A 3 1. 工事に支障となる樹木は事前に剪定・伐採・抜根いたします。

工事箇所では説明会資料 P16 のとおり、サクラ、ヒマラヤスギ等 9 本を剪定、大谷戸橋付近のサクラの切株・ひこばえは伐根いたします。

東ルート of 搬出入路では、杉並高校敷地内ではキンモクセイ等 3 本を伐採し、国立女子大学の敷地内の樹木の処理はありません。

Q 3 2. 樹木の処理について、下流側の工事では樹木医の先生がアドバイスしたことを何一つ守っていなかったため、信用できない。

A 3 2. 下流側の工事では、樹木医の意見・判断に基づき処理を行っております。

本工事においても同様に樹木医の意見・判断のもと対応してまいります。

Q 3 3. 河川の整備は水鳥の休憩場所や川の中に堰を作るなど、自然環境に近い形でデザインしてください。

A 3 3. 護岸整備の際には、水鳥の休み場など、工夫できるところは検討してまいります。

Q 3 4. 護岸表面はコンクリートでなく、間知石を必ず使用し、護岸緑化してほしい。

A 3 4. 護岸に使用するブロックについては、令和 5 年 6 月の溢水被害を踏まえ、整備効果の早期発現を第一目標に掲げており、施工性に優れた大型パネルを前面に設置するタイプを考えております。パネルの前面の仕様については景観にも配慮した形を検討してまいります。

Q 3 5. 汚水は雨水と別々の分流式にして河川法の目的である河川環境の整備と保全をお願いしたい。

A 3 5. 東京都区部の下水道は原則、合流式下水道となっております。ご要望は担当部署へお伝えいたします。

Q 3 6. 災害時に善福寺川から取水できる場所を作って欲しい。

A 3 6. 善福寺川では、災害時に河川水を消火等に利用することができる消防水利が複数箇所設定されております。

Q 3 7. 近年の水害で人命被害は起きていないので緑を壊す河川事業は不要だ。

A 3 7. 近年の気候変動に伴い、水害は頻発・激甚化しており、令和5年6月の台風2号でも善福寺川上流域で浸水被害が発生しております。

引続き、都民の生命と財産を防ぐために河道と調節池の両方の整備を進めてまいります。

(その他いただいたご意見)

- ・善福寺川上流調節池（仮称）に関すること
- ・東京都の河川整備計画に関すること
- ・河川整備計画の進め方について
- ・下水道の整備について

幅広く意見を頂きました。